

チョウを見つけて 久万高原の自然の変化を調べよう



アカタテハ



キタキチョウ



ルリシジミ

チョウは自然をしらべるモノサシ！

工事等による環境改変や温暖化などの影響で、自然がどう変化しているのかを定期的に調べることを「モニタリング」といいます。

身近な昆虫のチョウは、自然の変化に敏感な「指標性が高い生物」であることが分かっています。チョウのモニタリングをすることで、自然がどう変化しているのかを把握することができます。

この会では、チョウのモニタリング調査の方法を解説し、実習します。チョウの観察が初心者の方も、ぜひご参加ください。

●日時 令和8年**10**月**11**日(日)
10:00～12:00

●場 所 久万高原ふるさと旅行村
(愛媛県久万高原町下畑野川乙488)

●集合場所 事務所前駐車場

●対 象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴)
自然のモニタリング手法を学びたい方

●定 員 20人 ●参加費 無料

●持参物 筆記用具、飲み物、野外を歩ける服装
カメラ・チョウの図鑑(お持ちの方のみ)

●講 師 中村康弘さん
(日本チョウ類保全協会事務局長)

●共 催 NPO法人日本チョウ類保全協会

●参加申込方法

面河山岳博物館までお電話ください。

(電話：0892-58-2130) フォームからも申込可

●その他

雨天等による悪天候の場合は、屋内でのスライドや標本を使った座学のみとなります。

